

ホーチミンのお正月

とタイトルにしてみたものの、実はホーチミンの1月1日はあまり重要視されていなかった印象です。

11月末頃から街にはクリスマス飾りが出てきて、クリスマスツリーやリース、大きなショッピングセンターやホテルにはすごいオブジェも飾られていました。「Merry Christmas



and A Happy New Year」などと書かれており、「クリスマス＆新年兼用の飾り」といった感じでした。当然、しめ縄や門松、鏡もちや松飾りなどの正月飾りはゼロです。

我が家に週1回来てくれるベトナム語の家庭教師のBao先生(25歳男性)に尋ねてみました。

川上「先生の家は、クリスマスって家でお祝いとかするんですか？」

Bao「しませんね。うちは仏教徒ですから。」

川上「クリスマスツリー飾ったり、ごちそうやケーキ食べたり……」

Bao「する家もあるけど、私の家はしません。特に宗教に厳しいって訳でもないんですけど。」

川上「それじゃ、1月1日は？何か飾り付けしたり、特別な料理を食べたりは？」

Bao「旧正月にはしますが、1月1日はしません。でも、休日になるのでうれしいです。」

Bao先生の言うとおり、ベトナムでは1月1日は休日で会社や学校は休みになります(本校は冬休み中)が、日本とは違って元日でもお店はみんな普通に営業していました。

ちなみに、ベトナムでは中華系の多くの国々と同様に旧正月であるテト(Tết Nguyên Đán<テグエンダン=節元旦>の略で、発音は「テツ」に近い)の方が大事にされているようで、テトに向けて市内の飾りはなかなかすごいことになってきました。今年のテト元旦は2月17日で、ホーチミン日本人学校もその日を中心に9連休(!)になります。



ホーチミン日本人学校の玄関に、用務スタッフが飾り付けしてくれました。サンタのそりは段ボール製の手作りです。職人技です。



よく買い物に行く、我が家から歩いて 5 分のビンコムセンター。午年のオブジェで、ベガサス？



高島屋の入っているサイゴンセンターのエントランス。雪へのあこがれか、白のイメージ。



観光名所でもあるピンクの教会はタンディン教会。旗のところにLEDが仕込んであるらしい。



タンディン教会のそばのお店にはクリスマスグッズがたくさん。信心深いということではなさそう!?



「狂ったディズニーランド」とも呼ばれるスイティエン公園の入口。シュールで好き。ゆきだるまか？



8 年前から改修中のサイゴン大教会は、足場で輝くLEDで夜の方がきれい(2027 年完成予定)。



我が家マンションのエントランス。いつも季節の飾りで迎えてくれます。



歩行者天国のグエン・フエ通りに、元日 0 時のカウントダウンに行ってきました。盛り上がってます。

「僕たちの正月は 3 月だ！」は、私の母校である代々木ゼミナールのキャッチフレーズですが、ここでは「ホーチミンの正月は 2 月だ！」という感じです。テトの様子は次号でお届けしますね。